

誠和荘だより

第144号
令和6年4月1日
発行

新年度のご挨拶

総括荘長 加藤 仁

暖冬と言われながらも寒かった冬を越え、桜の季節となりました。誠和荘、特に特養においては、2月に新型コロナのクラスター状態となってしまう、利用者やご家族・関係者の方々には大変ご迷惑をおかけしました。皆様方のご理解・ご協力のもと、何とか乗り越えることができました。誠にありがとうございました。厳しい冬の次には、暖かな春の到来です。分かれと出会いの季節となりますが、誠和荘においても、一部の職員の入れ替わりがあり、また新しい気持ちで、桜とともに明るく華やいだ気分で日々の生活を過ごせたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

荘長退職のご挨拶

村田 吉隆

6年間誠和荘の職員の皆様や利用車の皆様に支えられ大過なく退職できますこととお礼申し上げます。私には、忘れることがない記憶があります。約30年前、当時私は女性相談も所管しており、20代の女性が子どもが生まれたのを契機に覚せい剤から手を切り再出発しようとした時、市内のどこの母子寮も受け入れてもらえない中、半田市の母子寮の園長さんが快く「更生しようとしている人の援助をするために私達は仕事をしています。」と言われ、ある晴れた日に相談者と一緒に名鉄電車に揺られ母子寮のある駅にほんのりとした温かいものを感じながら、降り立ったことを思い出します。今、私はその園長さんの足元にも及ばず退職します。人との関わりを仕事とする者には、それぞれいろいろな思い出があります。これから皆様にとって悔いのない人生となりますことをお祈りいたします。誠和荘の皆様、ありがとうございました。



これまでたくさんのご指導を頂き本当にありがとうございました。感謝の気持ちを込めてお花を贈呈しました。今後の健康とご活躍を祈念いたします。 職員一同

新荘長のご挨拶

吉戸 禎博

この度、村田荘長の後任として着任しました吉戸です。私は、これまで主に区役所で、防災やまちづくり、高齢者・子育て・障害者の福祉など多くの分野の職務に携わってきました。昨年度は児童館で子どもたちの成長の支援をしていましたが、この4月から、縁あって誠和荘に荘長として勤務することとなりました。これまで諸先輩方が作り上げられてこられた誠和荘のよき伝統を引き継ぐとともに、微力ではございますが課題に向き合い職務に精励して、職責を果たしてまいりたいと考えています。また、職員と力を合わせて、皆様が心豊かに安心して過ごすことができるよう、精一杯取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



養護

ぜんざい祭り



1月30日(火)にぜんざい祭りを行いました。つきたてのお餅を温かいぜんざいに入れ、皆様へ召し上がっていただきました。「おいしいなあ、お代わり！」と久しぶりのお餅に喜ばれておりました。



初詣



2月20日(火)にコロナ禍前は毎年恒例の熱田神宮へ初詣に行ってきました。久しぶりの参拝に皆さん真剣な表情で手を合わせお参りしていました。



特養

よか正月



1月元旦によか正月を行いました。誠和神社(自作)を参拝し、おみくじを引き、今年の運勢を占いました。お菓子のつかみ取りを行い、いつもと違うお菓子を食べ、のんびりと過ごすことができました。



節分会



2月1日(木)に節分会を行いました。総括荘長、荘長が赤鬼青鬼となり登場!! 年男、年女各1名の入所者さんが今年の代表として『鬼は外、福は内』と豆まきをして厄払いをしました。今年一年平和でありますように。節分会抽選会のくじ引きも行い、大吉中吉小吉と楽しみました。



ひな祭り



3月5日(火)にひな祭り会を行いました。イチゴぱふぱふと飲み物でほっこりした時間を過ごし、午後からは、昔懐かし〜い音楽と映像を鑑賞しました。皆さんゆったりとした時を過ごされていたようです。



節分会



2月3日(日)に節分会を行いました。カラーボールを豆に見立てて、鬼めがけて追い払い、無病息災を願いました。皆様しっかり願いを込めてなげられていました。



ひな祭り



3月3日(日)にひな祭りを行いました。季節を感じながらお雛様とお内裏様になりきって撮影しました。ボール当てを行い、参加賞として、お菓子と好きな飲み物を選んでもらい、楽しい時間を過ごしました。

おもな行事予定

- 4月 花見
- 5月 五月まつり、春の運動会
- 6月 市老人ホーム輪投げ大会



デイサービスセンター誠和荘



1月

新年最初の営業日である1月4日(木)に恒例の「新年餅つき大会」を開催いたしました。ご利用者様にもお手伝いをお願いして「よいしょよいしょ」の掛け声に合わせて杵を振るっていただきました。出来上がった餅は五平餅にして提供し喜んでいただく事ができました。2024年もご利用者の笑顔を見ることができ職員一同幸せな気持ちで新年を迎えることができました。本年もご利用者の皆様が笑顔で過ごしていただけるサポートを心掛けて参りますので何卒宜しくお願い申し上げます。



2月

2月28日(水)は「寿司バイキング」を開催しました。今年もお寿司屋さんの雰囲気を楽しんでいただきたいと考えサービス内に屋台を設置して、テーブルのお品書きからご希望のネタを注文していただきました。全種類注文して食べ比べる方や好物のネタを繰り返し注文される方など皆様それぞれのスタイルでお寿司選びを楽しんでおられました。

3月

3月4日(月)は桃の節句をお祝いして「ひなまつりカラオケ大会」を開催しました。ささやかながらプレゼントを用意させていただき、歌唱後にテレビ画面に表示される得点には毎回歓声が上がると大変盛り上がりました。カラオケ大会終了後には季節の和菓子に舌鼓を打っていただきました。

デイサービス おもな行事予定

- 4月 輪投げ大会
- 5月 五月まつり
- 6月 ミニ運動会

サロン誠和のご案内

3密を避け、事前申し込み・マスク着用で「サロン誠和」を楽しみましょう(〜♪)

健康体操(地域定員10名程度)

日時 4月18日(木)・5月16日(木)・6月20日(木) 午後1時30分～3時

民謡(地域定員5名程度)

日時 4月23日(火)・5月28日(火)・6月25日(火)
午後1時30分～3時

バラエティ(地域定員5名程度)

日時 5月9日(木) 輪投げ 午後1時30分～3時



※感染症の流行により中止・変更があります。開催日の前日までに事前の確認をお願いします。



防災訓練(植田山福祉施設合同防災訓練)



3月6日(水)防災訓練を実施しました。今回の訓練は、地震発生とその被害によるガラスの散乱、そして火災の想定、さらに天白消防署消防隊員立会と植田山福祉施設合同防災訓練の近隣施設への応援要請で行いました。災害は、いつ起こるかわからないからこそ常日頃からの防災意識は大切です。能登半島地震が記憶に新しく入所者皆さまも防災意識を持つよう心掛けていらっしゃる方が多くいらっしゃいました。訓練終了後は、予防課予防係消防司令補堀田氏による講評がありました。そのあと、消防隊員による、煙体験、消火器の取り扱いと放水動作の指導がありました。参加者は職員、入所者、近隣施設応援者が参加し、煙体験では、「真っ白で前が見えないから怖いと思った」消火器の取り扱いでは、「思った方向には水は飛ばず、でも体験して要領がわかりよかった」の声もあり、実際体験することの大切さを感じました。天白消防署隊員と近隣施設あけぼの学園、植田寮、オーネスト希望の応援職員の皆さんありがとうございました。



特養栄養士による食コラム



寒さが和らぎ、「春」がやってきました。花粉症には辛い季節ですが、春の野菜が活躍してくる季節でもあります。春野菜は、寒い冬の時期を乗り越え成長してきたからこそ、優れた栄養成分が詰まっているといわれています。春キャベツやアスパラ、空豆、セロリや三つ葉、ニラも有名ですが、鮮やかな緑色が彩を添えてくれるスナップえんどうも春を代表する野菜です。スナップえんどうは、シャキシャキとした食感と甘みが強いことが特徴ですが、皆様はさやえんどうやグリーンピースとの違いをご存じでしょうか。



さやえんどう・グリーンピース・スナップえんどうは全て「豆科エンドウ属」の仲間です。さやえんどうはえんどうを早採りして皮ごと食べますが、グリーンピースは豆が大きくなるまで待って完熟した豆を食べます。スナップえんどうはグリーンピースを品種改良したもので、成長してもさやが硬くならずさやごと食べることができます。そのため、ビタミンやミネラル、食物繊維も豊富に摂取することができます。「snap」(スナップ):「ポキッと折る」という意味から呼ばれるようになりました。春野菜は、全般にビタミン類、苦み成分などを含むものが多く、体内の代謝を高めるために使われる補酵素をたくさん含んでいます。



これから初夏に向け、体調を崩しやすい季節でもありますので、春野菜をうまく利用し、毎日元気に過ごしていきましょう。

編集・発行 社会福祉法人八起社 老人ホーム誠和荘
〒468-0001 名古屋市天白区植田山2丁目101番地
☎ 052-781-2859 ホームページ//hakkiya.com

養護老人ホーム誠和荘
特別養護老人ホーム誠和荘
デイサービスセンター誠和荘
誠和荘居宅介護支援事業所
誠和荘短期入所生活介護事業所